

An aerial photograph showing a village in a valley. A large, reddish-brown path of mud and debris, likely from a landslide, runs down the center of the valley, passing through the village. The surrounding hills are covered in dense green forest. The village consists of several small houses and some larger buildings. There are also some green fields and a road visible in the foreground.

平成17年 9月5~6日

台風14号による土砂災害

平成17年11月
鹿児島県 土木部 砂防課

災害の概要

平成17年9月5日から6日にかけて九州西岸を北上した台風14号は記録的な豪雨をもたらし、垂水市を中心として、県内各地で土砂災害が発生しました。土石流やがけ崩れにより、5名の尊い命が失われたほか、多数の住家被害や集落が孤立化するなど、被害状況は甚大なものとなりました。



■被害の状況等

(平成17年10月7日現在)

地域	人的被害		全壊 棟	半壊 棟	一部損壊 棟	床上浸水 棟	床下浸水 棟	土石流 箇所	がけ崩れ 箇所	地すべり 箇所
	死者	負傷者								
鹿児島		3	2	1	59	59	488	2	23	
北薩					4		4		1	
川薩					2		45		6	
南薩		2		1	17		7		3	
指宿					91	5	91		1	
始良		5		11	88	51	141	3	4	1
曾於		2		1	7	3	8	1		
肝属	5	4	51	31	1398	129	703	22	23	
熊毛				1	188	5	59		1	
大島		2		7	112	17	91			
合計	5	18	53	53	1966	269	1637	28	62	1

気象の概要

台風第14号は広い範囲に発達した雨雲を伴い、強い雨が各地とも長時間降り続き、特に大隅半島では記録的な豪雨となりました。

鹿児島県の降雨の状況を見ると、5日未明から大隅地方を中心に1時間に20mm以上の強い雨が断続的に降り出し、翌6日には奄美地方を除く全域に広がりました。6日の朝方に雨は最も強まり、肝付前田観測所や鹿屋観測所では50mm/h以上の非常に激しい雨を観測しました。5日から7日にかけての総雨量は、大隅半島で500mmを超え、特に高隈山系の東斜面では900mmを超えました。また、5日の日降水量は、肝付前田で542mm、甬与志岳で537mm、田代で484mmとなるなど、各観測所の観測開始以来最も多い記録となりました。

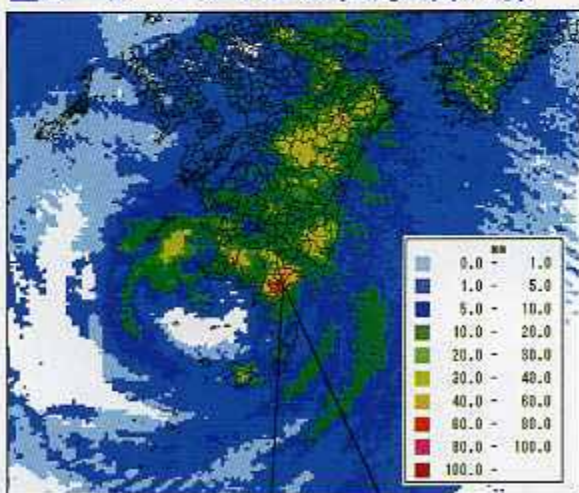
■台風14号の経路



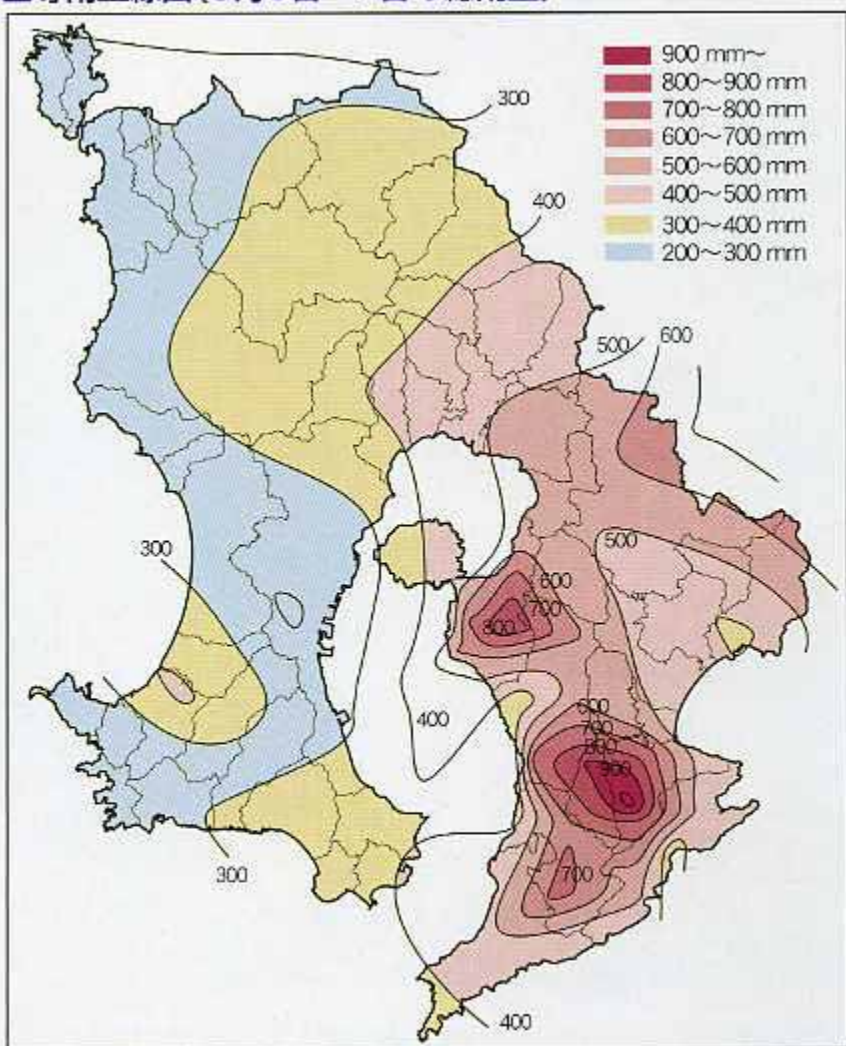
■衛星画像(9月6日7時)



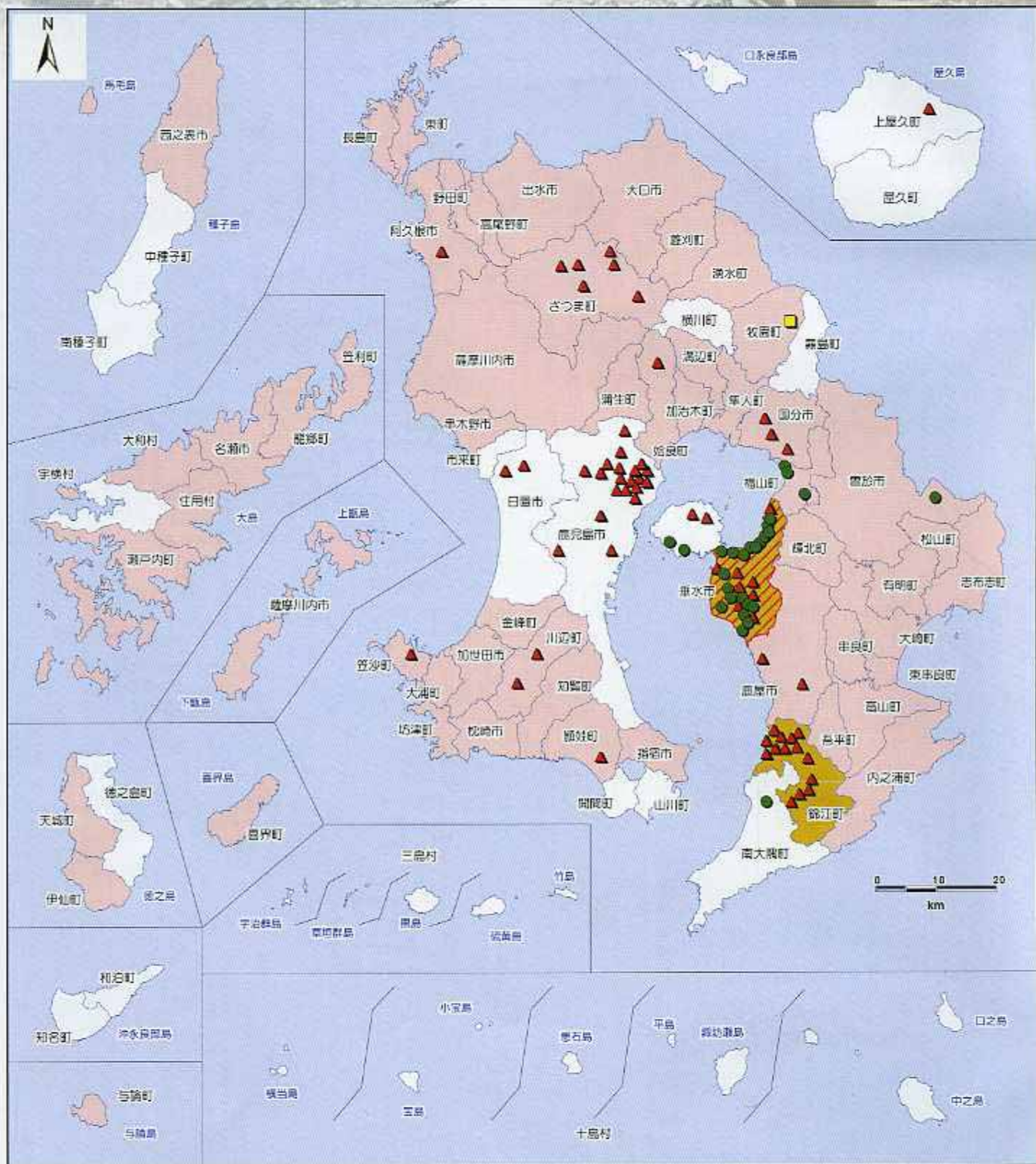
■レーダー・アメダス(9月6日7時)



■等雨量線図(9月5日~7日の総雨量)



県内のおもな災害発生箇所



- 災害対策本部を設置 (55市町村)
- 被災者生活再建支援法の適用 (垂水市・錦江町)
- 災害救助法の適用 (垂水市)

- かけ崩れ災害箇所 (62箇所)
- 土石流災害箇所 (28箇所)
- 地すべり災害箇所 (1箇所)

鹿児島県の地形



国土地理院の50m標高データを用いた赤色立体図※

※赤色立体地図…地形を立体的に表現した図。傾斜の急なところほど赤く見える。
(特許第3670274号 アジア航測株式会社)